

優しさであふれるように

西原町立西原南小学校 6年生 喜納 あいら

私が観光客に1番自慢したい事は、どこの観光地に行っても、みんなが観光に来たお客さんを、あたたかく優しく受け入れていることです。そんな、優しくあたたかい場所がありますが、私が1番気になっている事は、英語をしゃべれる人が少ないという事です。みなさんも見た事があると思いますが、私は、観光に来たお客さんが自分の行きたい道が分からず人に聞いていたのを見ました。しかし聞いている方は、まったく英語が分からず何て言っているのかも分かっていませんでした。

私は観光している方の行きたい所が知りたい、教えてあげたいと思いましたが、かんたんな英語しか分からないからダメだとあきらめてしまいました。しかし、あのすぐ後に、モノレールに乗った時の事です。

モノレールの中は人がたくさん居て、転びそうになりましたが、観光に来ていた台湾の方が私が転びそうになっていたのを気付いたのか、「おいで」と手で合図をしてくれました。観光に来ていた方は、私が転ばないように間に入れ、荷物を自分の方に寄せ、だれかにぶつかったら、まだ慣れない日本語で「ごめんなさい」と言っていて、とても優しい方だと思いました。ぶつかられた方は、「次から気を付けろよ」など相手がいやになるような言葉を言ったのに、観光に来ていた台湾の方は、私を見てニコニコして私がおりるまで私を守ってくれ、おりようとした時には、ニコニコでバイバイと手をふってくれました。私はモノレールに乗る前の事を思い出し、お礼を言おうと思い、かんたんな英語ですか「Thank you」と言いました。そうすると相手の方はもっと笑顔になり、私も笑顔でモノレールをおりる事が出来ました。沖縄を世界一の観光地にするには、勇気を出して自分からかんたんな英語を観光客に話し、困っていたら助けましょう。そうすると、言語が伝わってなくても相手の方は、あなたに感謝してますよ。これから観光客が増えるように、みんなが英語を学んだり、観光客の方が少しでも日本を知ってほしいので「観光客のための日本語教室」を開いて、沖縄の方言を覚えてほしいです。みんなで沖縄の力を見せましょう。

おわり